

今月の御教え

天と地の間に人間がいる。天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである。

……「天地は語る」 第一条……

解説

この御教えは、まさに私達人間の「存在の意義」を明確に示された御理解であります。即ち『天地金乃神は人間の親様である。信心するものは一生死なぬ父母に巡り合いい、おかげを受けてゆくのである。』との御教えの如く、私達人間は、この大いなる天地を司る天地金乃神様の御働きにより命を頂き、この世に生み出され、そうして、天地の限りなきお恵みをうけて、この地上に生きることが出来ているのであります。

幾多の苦難の中にも、ひたすら神信心を貫き、この様な天地の道理を感得された教祖生神金光大神様の信心の道に御縁を頂いている私達は、この信心を子々孫々に、又、広く社会に教え伝えて行きたいものであります。